

神戸大学 PORTAL+ サークル情報
Twitterはこちらから↓



アカウント：@oroshi6565



神戸大学ニュースネット

NEWS NET

発行：神戸大学ニュースネット委員会
〒657-8501 神戸市灘区鶴甲 1-2-1
神戸大学学務部学生支援課内
URL <https://kobe-u-newsnet.com/>
X (旧 Twitter) @newsnet_kobe_u

号 外

「記録を記憶に」次世代へ

阪神・淡路
大震災

30年

震災から30年つなぐ

1月17日、12時30分から六甲台第一キャンパス慰霊碑前で慰霊献花式が行われた。震災で亡くなった神戸大生の遺族、被災者のほか、市民や教職員、学生らが白菊を献花した。献花式の後は、遺族と大学関係者による懇談会も開かれた。



(上)：慰霊碑前で集合する遺族や関係者ら



(左)：遺族代表挨拶を述べた戸梶さん



(上) 献花する藤澤学長

藤澤学長は、追悼のことばで、「記憶の風化が課題となる中で、我々は被災地の大学として、また多くの犠牲者を出した大学として、次世代に震災の経験と教訓を伝える様々な努力をしていかなければなりません」と大学として果たすべき役割を述べた。

遺族代表挨拶を務めた戸梶幸夫さん（当時経営学部2年の戸梶道夫さんの父）は、「震災から30年が経過して、わたくしどものような遺族の数もだんだんと少なくなり、また震災を直接経験された方も少なくなってきました。どうかこれからもこの慰霊碑が関係者だけのものではなく、阪神大震災の記録として多くの方々の記憶に残り、様々な災害による悲しい被害が起きるだけ少なくなるような活動が、神戸大学を中心として発信され、さらに多くの防災の活動につながることを願ってやみません。そうした活動につながっていくことが、亡くなられた方々へのいちばんの供養になるのではないかと思います」とこれからの活動に思いを寄せた。